令和 5 年度高エネルギー加速器研究機構技術研究会 (リモート)参加報告
共通機器部門 情報基盤機器管理班 三原 修

1. はじめに（目的等）
国内 3 機関（分子科学研究所，高エネルギー加速器研究機構，核融合科学研究所）が持ち
回りで隔年開催されている技術研究会であり，大学・高専・共同利用機関等の技術者の方々
が，日常業務で携わっている広範な技術的研究支援活動について発表されている。
主に口頭発表を聴講するため，今回，この研究会にリモート参加した。

2. 期間・場所
期間： 令和 6 年 3 月 7～8 日 （2 日間）
開催場所： 高エネルギー加速器研究機構 つくばキャンパス（茨城県つくば市）
※ 開会式と口頭発表は，現地（オンサイト）とリモート（オンライン： Zoom）のハイブ
リッド開催。

3. 参加者
大学・高専・共同利用研究機関等に所属する技術職員等（現地 171 人，リモート 160 人）

4. 研修内容
開会式ならびに口頭発表（リモートは Zoom ミーティング； 分科会の各ルーム別）の聴講
※ 研究会の詳細は https://www2.kek.jp/engineer/tsukuba/giken/2023/ を参照。

5. まとめと感想
今回の研究会では，開会式（次期研究会開催案内や，リニューアルされた技術研究会報告
集データベース *1 ・技術情報共有サイト *2 の紹介も含む）が行われた後は，基調講演は無
く，口頭発表が 5 つの分科会別に 2 日間にわたり（さらに，現地参加の場合は，1 日目にポ
スター発表が，2 日目に施設・装置見学会が），それぞれ開催された。
口頭発表の聴講は自分の業務分野に近い第 5 分科会に主に参加しているが，課題解決の
ための新たな取り組みやシステム構築・運用管理等，様々な発表があった。さらに，他の分
科会の発表も 2～3 件程部分的ではあるが覗いてみた。プログラムやアブストラクトを見る
と，業務分野は異なるが他にも興味深そうな発表があったようである。
また，リモートでの参加は便利な反面，色々と制約もある上に，ハイブリッドでは運営側
の負荷も大きいと拝察され，やはり現地参加ができればさらに幅広く知見を得られそうで
あると感じた。

*1 技術研究会報告集データベース（分子科学研究所）： https://techsv.ims.ac.jp *2 技術情報共有サイト（同）： https://tech-share.ims.ac.jp